

2026年度版

照明成長戦略

LIGHTING VISION

2030

～あかり文化の向上と地球環境への貢献～



Society 5.0に対応する次世代照明

Lighting 5.0



Japan Lighting Manufacturers Association

一般社団法人 日本照明工業会



ビジョン

～あかり文化の向上と地球環境への貢献～

Society 5.0に対応する次世代照明“Lighting 5.0”[※]の普及を通じて
新しいあかり文化の創造と脱炭素社会への貢献を目指しながら
SDGs達成に向けた取り組みを拡大・加速してまいります

※“Lighting 5.0”はJLMAが提唱・定義する新時代のあかりの概念です。

“Lighting 5.0”とは、従来のあかるさを得るためだけの照明ではなく、「健康」「安全」「快適」「便利」な高付加価値な照明です。
「人を中心とした、さまざまなモノやコトとつながる、Society 5.0(ソサエティ5.0)の社会に対応する次世代照明」を
JLMAは“Lighting 5.0”と定義します。

ミッション

我々は、地球環境に配慮したやさしい“あかり”の普及に努め、より安全で快適な生活環境を
実現するとともに地球環境の向上に努めます

照明業界の代弁者として、政府の成長戦略への取り組み、国内外のステークホルダーへの情報発信、
交流、交渉を通じて、公平で健全な照明市場を形成し、照明業界の発展に貢献します

目標「2030年の姿」

ストック市場のSSL化率100%

※SSL=LED・有機EL等の半導体照明

Society 5.0に対応する次世代照明

Lighting 5.0の普及・拡大で

構成比40%を目指す

温室効果ガス排出量

46%程度の削減に挑戦

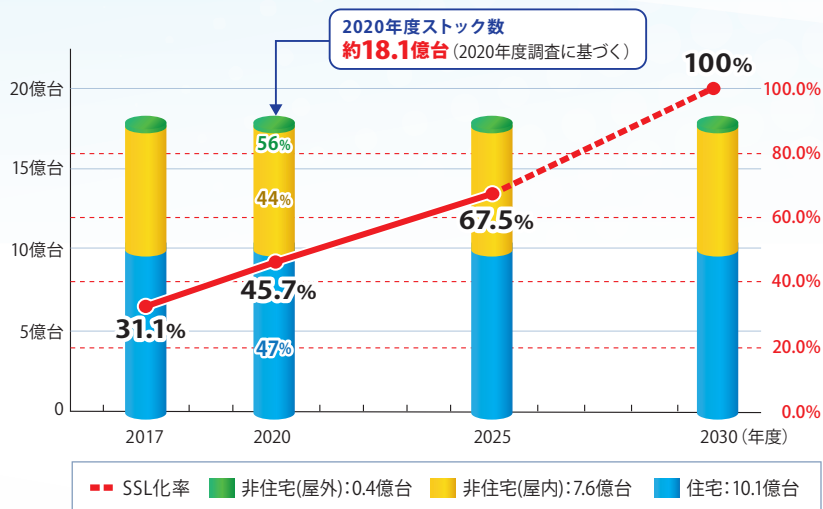
(2013年度基準、電機・電子業界全体の中長期的な
取組・CNへの貢献の目安)

※CN: Carbon Neutral

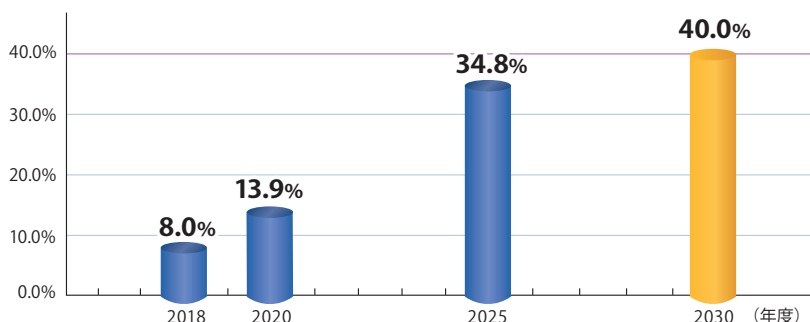
消費電力量60%削減

(2013年度基準、LED素子、器具、電源等の効率アップ
と照明制御設備の普及)

■2030年ストック市場100%(SSL器具占有率目標)



■Society 5.0に対応する次世代照明“Lighting 5.0” 製品構成比の拡大



1. “Connected Industries” によるパラダイムシフトへの対応

先進技術を活用した“Connected Industries”による様々なビジネスモデル、超スマート社会 (Society 5.0) への変化に対応する為、Lighting 5.0対応商品の創出と普及を目指し、分野を超えた異業種との連携、インターフェースやセキュリティー等の広義の安心・安全に対する標準化により事業環境の整備をすすめる。

1-1. “Lighting 5.0”普及のための事業環境整備

1-2. “Lighting 5.0”による新たな空間価値の創出・提案

2. あかり文化の向上とSDGsへの貢献

2050年CN、2030年温室効果ガス46%削減(2013年比)という国際公約達成の為、政府目標でもある2030年までに照明器具ストック市場におけるSSL化率100%を目指す。
「環境的側面」に関わる様々な動向と標準化への動きに対応し、事業環境の整備をすすめる。

2-1. スtock市場のSSL化加速による地球環境への貢献

2-2. “新たな空間価値の創出”を支える基盤技術の調査研究

2-3. 環境課題への対応

2-4. 標準化、製品安全の推進

3. グローバル化・ボーダーレス化への対応

各地域・国ごとのSSL化に伴い世界レベルで市場拡大が進む中、新しい基軸をもった市場参入、事業拡大は可能である。その好機を逃さないためにも、世界市場の情報収集ならびに正しい認知とバランス感は重要である。国内市場を守りつつ、他国との関係性の維持並びにいつでも世界市場に向け拡大可能な環境を保持する。
SSL普及による製品のグローバル化、ボーダーレス化に伴い、日本市場にマッチしない輸入海外製品も含め、あらゆる角度からの製品監視を強化継続する。

3-1. 世界動向の把握と海外市場展開への環境整備

3-2. 公正で適正な競争ができる健全な市場の維持向上

活動概要

一般社団法人日本照明工業会 (JLMA) は、照明機器 (光源類、照明器具類、制御装置類及びこれらの構成部品) の製造及びこれに関連する事業の健全な発展、産業の振興、並びに国民生活における安全性の確保と生活文化の向上に寄与することを目的とし、主に普及活動・標準化活動、認証事業、国際活動を推進しています。

主な活動

普及活動

- 広報活動
- 情報発信
- 統計調査
- 関連機関との協力

標準化活動

- 国内規格対応
- 海外規格対応
- 工業会規格の制定・改定

認証事業

- 誘導灯認定
- 非常用照明器具自主評定
- (S形)埋込み形照明器具自主評定
- 公共施設用照明器具標準の制定

国際活動

- 国際交流支援
- 国際標準化支援
- グローバル照明協会 (GLA) 活動推進

1. “Connected Industries” によるパラダイムシフトへの対応

■Lighting 5.0の普及と新たな空間価値の創出・提案

Society 5.0 に対応した次世代照明 Lighting 5.0

分野や業種を超えた、様々なモノ、コトにつながることで、多様な環境やライフスタイルに合わせた快適な生活を創造する、人にやさしい、安全・安心・便利で質の高い、高性能なあかりのこと。

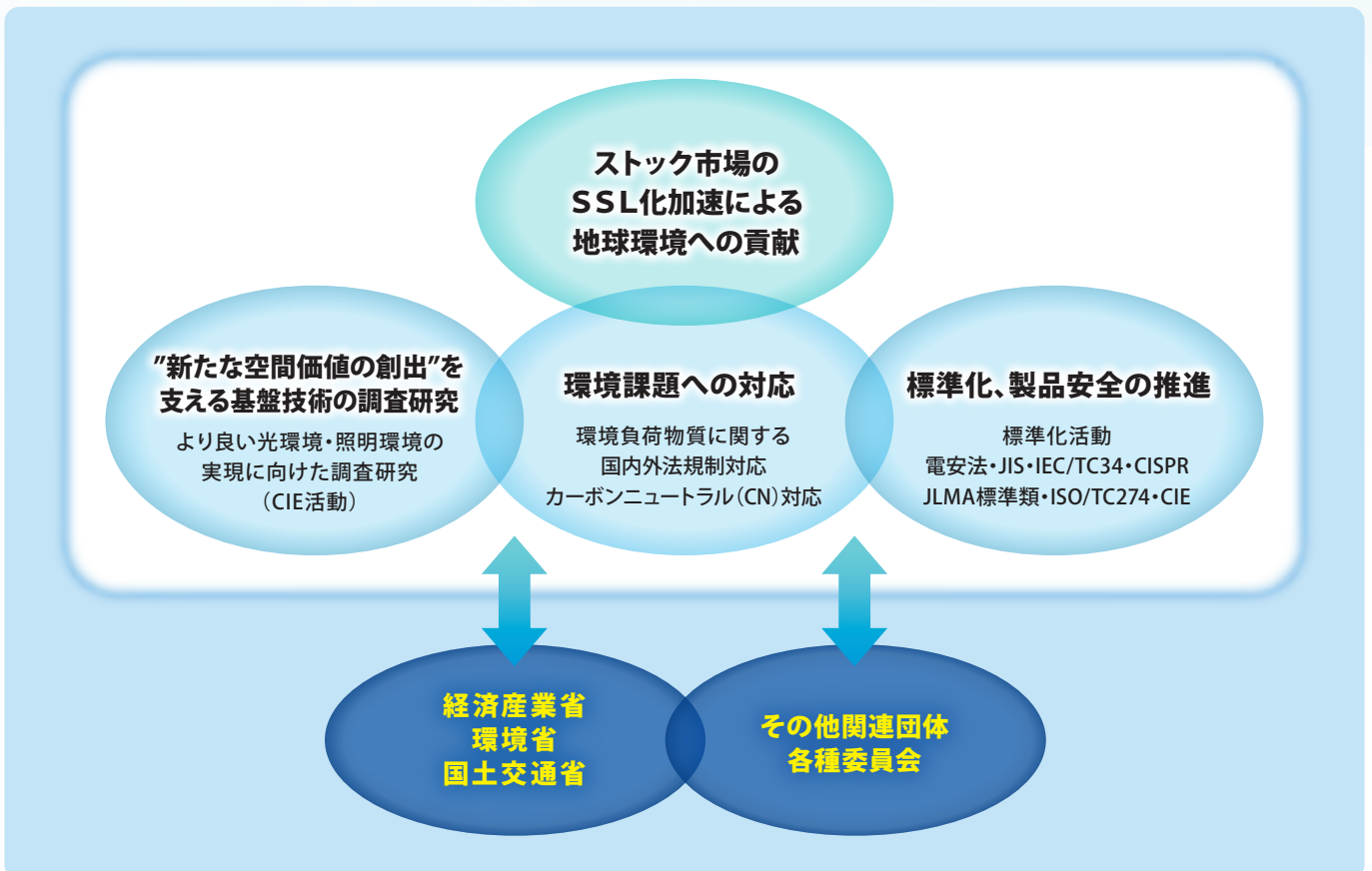
“Lighting 5.0”における1.0～4.0の考え方

1.0を人類が手にした最初のあかり(たいまつやろうそく、油、ガス灯などの炎)、2.0をエジソンの白熱電球、3.0を放電灯、4.0をLED照明、そして、1.0から4.0の光源進化から、様々なモノやコトにつながる Society 5.0 に対応し進化した“人を中心としたSociety 5.0”に対応する次世代照明を“Lighting5.0”として定義しました。

“Lighting 5.0”がもたらす4つの価値

Wellness	Safety & Security	Comfort	Convenience
健康	安全	快適	便利
			
生体機能を維持・向上させるあかり 高齢者に寄り添い助けるあかり 良い睡眠をつかさどるあかり	停電時に自動点灯して支えるあかり 遠くの家族を見守るあかり 災害を検知して知らせるあかり	生活シーンに合わせて変化し、彩るあかり 自然光を感じさせるあかり スピーカーやプロジェクタなどの機能を持つあかり	人を検知し、非接触でON/OFFするあかり 周辺のあかりを検知し、自動調光するあかり スケジュールに連動するあかり

2. あかり文化の向上とSDGsへの貢献



3. グローバル化・ボーダーレス化への対応

■世界動向の把握と海外市場展開へ環境整備



- ・各国の市場動向など情報収集
- ・各国産業界との国際連携による国際機関、政府へのアプローチなど

- ・ IEC標準化活動参画 (IEC/TC34)
- ・ 貿易関税交渉への業界意見反映

IEC、ISO、CIE、照明関連団体 その他 各国政府、国際機関

グローバル照明協会 (GLA)



Global Lighting Association



日本



欧州



米国



台湾



ブラジル



インド

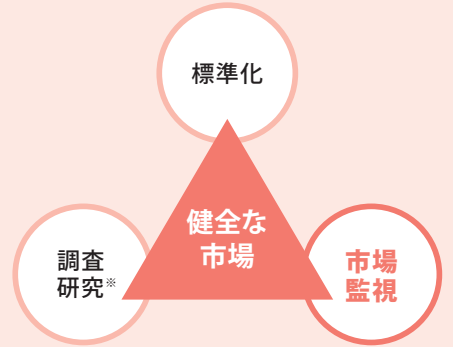


ニュージーランド



オーストラリア

■公正で適正な競争ができる健全な市場の維持

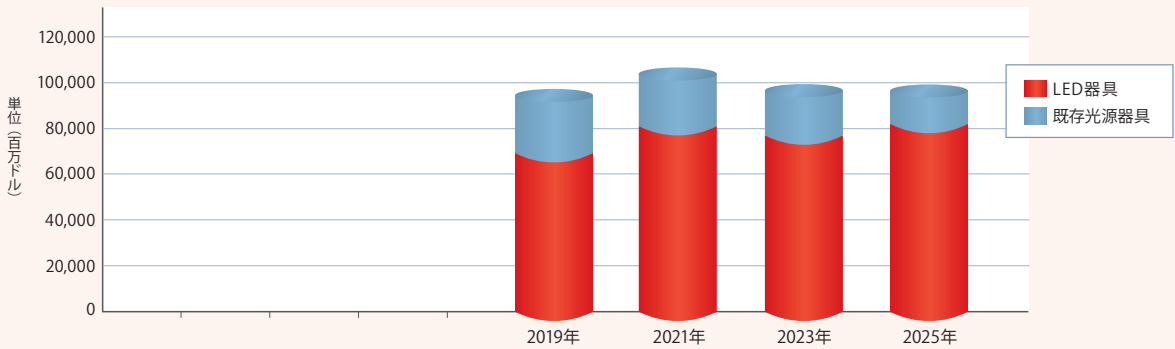


※照明・視覚関連の評価法の調査研究

試買調査など
市場監視体制の強化

■世界照明器具市場規模

世界の照明器具市場



出典: World Market Outlook for LEDs And Lighting Fixture 2025 他, CSIL/Nov 2025

国内照明器具出荷数量推移



出典: (一社)日本照明工業会自主統計

Society5.0に対応する
次世代照明



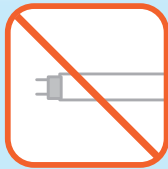
蛍光灯がなくなる前に
LED照明器具に交換!



電球形蛍光灯



コンパクト形蛍光灯



直管蛍光灯



環形等
その他の蛍光灯

2028年1月1日以降、
すべての
一般照明用**蛍光灯**の
製造・輸出入が
禁止!



〒110-0016 東京都台東区台東4丁目11番4号 三井住友銀行御徒町ビル8階 TEL.03-6803-0501 FAX.03-6803-0064
<https://www.jlma.or.jp>



Japan Lighting Manufacturers Association
一般社団法人 日本照明工業会



2019年3月制定
2022年3月更新
2022年10月改定
2026年5月改定
JLMAP2035b